

浦戸諸島の里海生業体験

—牡蠣・海苔養殖と新たな里海の継承産業を目指して—



松島湾浦戸諸島の伝統産業、海苔・牡蠣の養殖。担い手問題や近年の気候変動によって、今後はいかに産業を継承していくかが課題となっています。海苔・牡蠣の養殖の様子を間近に見ながら、担い手の方のお話を聞き、保全・活用・継承の糸口を探ります。

日時 2024年10月16日(水) 10:00

集合 塩釜市営汽船 桂島港

指導者 大場 智行さん(一般社団法人うらとまなび)

■内容・スケジュール

海苔・牡蠣養殖現場の見学と担い手の方のお話をお聞きします。また、周辺の里山里海環境を体験します。島の担い手ホープ、愛称・海坊主こと大場智行さんにご指導いただきます(プログラムは、当日の天候や養殖業者の皆様の作業内容によって変動する場合がございます)。

10:00 桂島海水浴場集合・オリエンテーション

10:30 海苔の養殖作業の見学

12:00 昼食(桂島ステイション)

13:30 牡蠣/海苔養殖、島での生業にかかわる講義

15:00 交流会(海苔・牡蠣養殖業の方を囲んでの懇談会)

16:30 終了/解散

■持ち物 等 動きやすい服装・靴、タオル、筆記用具、昼食、飲み物、双眼鏡(あると便利です)

■参加費 7,500円/人

■問合せ/申込 さとまなび <https://www.satoma-navi.com/> または
NPO 法人里の自然文化共育研究所 icesrc@outlook.jp まで

主催：一般社団法人うらとまなび・NPO 法人里の自然文化共育研究所 <https://sato-ken.org/>



この事業は、2024年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催いたします。